

令和5年度 第3回 藤沢市立藤沢小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年9月26日（火）10:00 から

場 所 藤沢小学校 図工室

出席委員	栃本 親（会長・三者連携（たまじやり応援団会議）会長） 河瀬 弘之（副会長・藤沢小学校校長） 三觜 忠（藤沢東部地区青少年育成協力会会長） 小山 八千代（藤沢西部地区青少年育成協力会会長） 官川 光代（藤沢東部地区民生委員・児童委員、藤沢子供の家運営委員） 鈴木 久美子（藤沢西部地区民生委員、2021年度藤沢小学校評議員） 小島 勇（藤沢市東部地区交通安全協議会会長・藤沢地区社会体育振興協議会会長） 鈴木 一平（藤沢地区郷土づくり推進会議委員、白旗神社氏子代表、2021年度藤沢小学校評議員） 井出 祥子（藤沢公民館館長） 伊藤 久乃（藤沢地区担当 CSW） 有田 千代（藤沢小学校保護者代表、2022年度PTA代表委員会） 鈴木 勝久（元藤沢小学校校長） 小堀 貴史（藤沢小学校教頭） 以上13名
次第	1. 藤沢小学校の現状と課題について ・全国学力・学習状況調査の結果から 2. 地域との連携について 3. その他
協議内容	（質問・意見等） ※1について ○学力・学習状況調査の結果は、全国・神奈川の平均とほぼ同等。 ○質問紙の考察では、以下の項目が特徴的であった。 ・「自分には良いところがあるか」で「あてはまる」と回答した児童が全国平均を10.6%上回った。 ・普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか「よくある」と回答した児童が全国平均を12%上回った。 このことから、児童が自分自身を認め物事をポジティブに考える素地である「自己肯定感」が養われてきていると感じている。 ※2について ○「今住んでいる地域の行事に参加していますか」では「あてはまる」と回答した児童が平均を少し上回っているが「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」については平均を下回っている。 ・5年生だとこの質問に対しどう答えたらいいのか、漠然としていて具体が思い浮かばないのではないか。 ⇒身の周りの小さなことで何ができるのか、地域にどう働きかけるのか、授業や生活を通して学ばせていきたい。 ○地域で行われる学習会やイベントには積極的に参加するが、お神輿など地域の行事にはあまり興味を示さない子どもが多い。

	・昔に比べ地域力が希薄になってきているように感じる。大人同士のつながりが子どもにとってのモデルになる。 ※3について ○藤沢橋と学校間の国道沿いに建設中のショッピングセンターについて、安全対策として登下校中はガードマンが立ち、見守る。 ・地域に預けるかたちで見守りができないか。 ・期間限定で登下校中のルートを変更できないか。 ⇒今後の検討事項にする。 ○学習支援事業について…児童の基礎的な学力定着や学習意欲の向上を図るため、学習支援に地域の力を貸してもらえないだろうか。 ・免許状のない人、経験のない人が学校で児童の学習に関わること自体のハードルが高い。
--	--

次回開催日程 令和5年11月28日(火) 10時～